

第3回浪江町復興計画【第三次】後期基本計画策定会議 開 催 報 告

会議の名称	第3回 浪江町復興計画【第三次】策定会議		
開催日時	令和6年12月19日(木)9:30～11:45		
開催場所	浪江町役場 2 階大会議室		
会議運営	事務局:浪江町企画財政課 受託者:ランドブレイン(株)		
委 員	所属	役職	氏名
No.1	浪江町	副町長	山本 邦一
No.2	総務課	課長補佐	大浦 龍爾
No.3	企画財政課	課長補佐	磯貝 智也
No.4	住民課	課長補佐兼除染環境係長	佐藤 貴徳
No.5	産業振興課	課長補佐	松本 孝徳
No.6	農林水産課	課長補佐	長沼 和也
No.7	住宅水道課	課長補佐兼住宅係長	山田 貴之
No.8	建設課	課長補佐兼用地係長	渡邊 啓一
No.9	市街地整備課	課長補佐兼 F-REI 立地室長	伴場 裕史
No.10	健康保険課浪江診療所	課長補佐兼事務長補佐	深野 真広
No.11	介護福祉課	課長補佐	松本 秀幸
No.12	教育総務課	課長補佐	鈴木 智和
No.13	生涯学習課	課長補佐兼社会教育係長	門馬 純子
No.14	津島支所	支所長補佐兼係長	根本 明彦
No.15	浪江診療所	事務長補佐兼係長	渡邊 聖子
No.16	仮設津島診療所	事務長補佐兼係長	窪田 美穂
次 第	1 開 会 2 挨 拶 3 報 告 ➤ 第2回 浪江町復興計画【第三次】後期基本計画策定委員会 ➤ 町民ワークショップ 4 後期基本計画に向けた見直しの方向性について 5 今後の策定スケジュールについて 6 その他 7 閉 会		

(会議での意見一覧)

施 策	意 見
I -1-(1) 農業の再開	・ 畑作は補助条件や作物が変わったりすることもあるため、成果目標の設定が難しい。農業関係統計調査時期に合わせた目標設定とする必要もある。 ・ 農作物の出荷額を成果目標とできないか検討しては。 ・ 農業参入の簡素化に関して、現状課題があるのか、簡素化の取組事例があるか検討しては。 ・ 農業参入のハードルを低くするために、お試し農場を検討している話も聞く。 ・ スマート農業においては、習得した技術等に基づいて、どのように営農していくか、どう生産性を上げるかを支援する視点で考えてもらいたい。
I -1-(2) 林業の再開・漁業の再開	・ 漁獲量を成果目標とできないか検討しては。
I -2-(1) 商工業の振興	・ チャレンジショップで営業中の事業者を含め、町内で商業(飲食、小売等)を希望する方には、中心市街地への出店支援を進めていく。なお、チャレンジショップは飲食業以外でも利用可能だが、設備の関係で飲食業の利用が多い印象。
I -2-(4) 観光・交流の推進	・ 観光振興においては町への認知度向上と交流人口の増加を図りつつ、その先で移住へとつながるよう取り組む。
II -1-(2) 学校教育の充実	・ 双葉郡内の高等学校の再開・立地について、何らかの記載が必要では。
III -1-(1) 帰還困難区域の再生	・ 室原や津島地区の公営住宅入居者数を成果目標とすることもアイデアとしてある。
III -2-(1) 浪江駅周辺を核とした中心市街地整備	・ 中心市街地整備の情報発信については、ホームページや広報による定期的な情報発信のほか、現場近くでの情報発信場所の設置についても検討を進めている。 ・ 中心市街地のまちづくり推進は官民連携で推進していくべきでは。
III -2-(3) 交通網の充実	・ 令和 5 年度の鉄道の収支関係が公表されている。常磐線のいわき駅と原町駅の赤字はトップ、利用者数は 1 日あたり 1,731 人という数字であり、ある程度こういった状況を解消しないと、増便などを要望しても進んでいかない。
IV -1-(1) 健康づくりの推進・医療の充実	・ 年代別の体力測定を今年度浪江地区で実施した。来年度も増やしていきたいと考えている。さらに体力測定のみならず、測定結果に応じた助言なども案内できればなおいいと思っている。
IV -2-(1) 介護・福祉の充実	・ 介護サービスを利用されている方の満足度を成果目標とできないか検討しては。
IV -3-(2) 除染の推進と安全対策	・ 施策の表題を「除染の推進による安全対策」とした方がいいのではないかな。
V -1-(1) 被災者生活支援	・ 役場窓口以外でも受けられる行政サービスの割合を成果指標とすることも考えられる。
V -3-(1) 地域コミュニティ活動の推進	・ 行政区の議論は結論を出せないが、何か一つの会議体で、いろいろ議論していく必要があるのでは。移住者に対してどうするか、現在の居住者についてどうするか、帰還していない人の繋がりをどうしていくかという、個別の大きい問題を復興計画上に位置づけるかどうか。浪江だけの問題でなく、原発被災地特有の問題なのでこれは時間かけて議論していくしかない。